

浅間縄文ミュージアム、町立図書館、エコールみよたは、新型コロナウィルス感染症の状況によっては休館となる可能性があります。

エコールみよた

Clip Board

教育委員会
生涯学習係
(32)2770

エコールサロンコンサートへのお誘い

エコールみよたのエントランスホールで、無料のサロンコンサートを開催します。身近で音楽に触れる良い機会です。ご家族、ご友人とぜひお出かけください。

日時 5月28日(土) 午後4時～4時30分
場所 エコールみよたエントランスホール
演奏者 朝霧会(大正琴)
曲目 北の漁場、花は咲く 他

ご注意ください
4月からサロンコンサートの
開始時間が変更になりました。

※新型コロナウイルス感染予防対策として、検温とマスク着用にご協力ください。また、感染状況により中止となる場合もあります。

浅間縄文
ミュージアム
(32)8922

縄文時代の炉の跡から でたものとは？

豊昇にある宮平遺跡の発掘調査では、縄文時代のイエにあった石田炉の中から石棒が出土しました。これは縄文人が、住んでいたイエを終わらせる際に、炉の中に祈りの道具である石棒を置いていったものと考えられます。この石棒は企画展「浅間山麓 縄文発掘ものがたり」で展示されます。



期間 4月29日(金・祝)～8月28日(日) 午前9時30分～午後5時
休館日 月曜日、祝日の翌日(ゴールデンウィーク、8月は無休)
観覧料 町民料金…大人250円、中学生までは無料 (この料金で常設展もご覧になれます)
場所 浅間縄文ミュージアム企画展示室

※新型コロナウイルスの影響で入館制限や臨時休館などがあります。お越しの際は電話やホームページでご確認ください。

町立図書館
(32)0800

図書館ボランティア フレンズおはなしの会 メンバー募集

読み聞かせボランティア「フレンズおはなしの会」は、図書館でのおはなし会やスペシャルイベント、また小学校などで読み聞かせをしています。

定期的集まって勉強会を開催し、絵本や紙芝居の読み方をはじめ、わらべ歌、手あそびなども勉強しながら活動しています。

「子どもたちに素敵な本を読んであげたい!」「本を通じて子どもたちと触れ合いたい!」という方、一緒に活動しませんか?興味がある方は、町立図書館へお問い合わせください。

5月の図書館の予定

※直前の感染状況をふまえて、急ぎよ予定を変更する場合があります。

●ちいさいおともだちのおはなし会(幼児向け) ●おはなし会

5月12日(木) 午前10時30分～11時

5月21日(土) 午前10時30分～11時

●小さな朗読会

5月18日(水) 午前11時～11時30分



>> Vol.25 町長コラム

このコーナーでは毎月、小園町長が町民の皆さんに届けたいメッセージを綴ります。

歯間ブラシの効能

昨年秋ごろから私の生活に一つ、加わったことがあります。それは「歯間ブラシ」です。いわゆる普通の歯磨きをした後に、すべての歯の間に歯間ブラシを通します。プラスチックの柄の先に針金のような突起があり、その周りにブラシが生えています。使う前は「そんな面倒なこと」という気持ちもちょっとありましたが、慣れてくるとさほどのことではありません。

以前は、毎日一生懸命歯磨きをしても歯ぐきから出血し、時折痛みも出てしまうなど苦勞していました。痛みが続くようになってから歯科医院を受診し、小さな虫歯の治療をしてもらいました。その後、歯ぐきの中を含む歯石とりに何度か通うたび、院長先生から「是非とも歯間ブラシを始め、続けてください」と強くお願いされました。詳しく伺ってみると、「歯の表面をきれいにする歯磨きではバクテリアの6割しか落ちない。あとの4割は歯の間にあるんです」とのこと。毎日4割を磨き残しているとは、磨いてないのと同じだ、と少々怖くなり、重い腰を上げました。

歯間ブラシを2週間も続けてみると、それまでいつもあった出血がほとんどなくなっていきました。「4割の磨き残し」が、やはりガンだったわけです。歯石とりが終わったころには、歯ぐきの「ポケット」がどんどん浅くなり、引き締まっていきました。ちょっと習慣を変えるだけでこんなにも結果が変わるのかと自分の不明を恥じるばかりです。

広報の4月号でお知らせしましたが、35歳、40歳、50歳、60歳、70歳の方に無料で歯科健診を受けていただけるようにしました。いわゆる「節目年齢」の皆さまには、これを機会にぜひ歯の健康をチェックしていただきたいと思います。また、ほかの年齢のかたも思い立ったらぜひ歯医者さんに行き、予防に力を入れてください!

Shin	ri	shi	Vol.15
心	理	師	「ビターフレッシュな季節」
Oka	moto	Nao	to
岡	本	直	人



町の心理師、岡本です。

4月になりました。本来ならばフレッシュで、エールを送るような話をしたいところですが、今回はあえてちょっと古くてビターな話。

4月に入り、入園や入学、クラス替えなど、子どもを取り巻く環境が大きく変わったことと思います。ましてや、引っ越しや異動・転職など、大人側の変化も多分にあるでしょう。そんな4月の少し前、3月には児童に関してたくさんの引き継ぎが行われました。そのなかには、園と学校だけでなく、保護者や教育委員会(心理師)、役場(保健師、福祉)、通級指導教室の先生、児童発達支援や放課後デイサービスのスタッフなどを含めた引き継ぎ(移行支援会議とも呼びます)も多くありました。先にも述べましたが年度の変わり目は環境が大きく変わるので、スムーズに環境の変化に適應できるように、あるいは環境の変化によるストレスを最小限にできるように、このような引き継ぎを行います。

新たな環境というのは、楽しみや期待、ワクワク感もありますが、やはり一定のリスクやストレスがあるのも事実です。そのため4月から頑張ったり、気持ちを切り換えたりしようとするのはもちろん大切ですが、場合によっては2～3ヵ月ぐらいの幅をもって新年度を迎えるような心がまえでも良いと思います。どうか、あまりハリきらないでください。本当の意味での移行支援というのは、3月に実施する引き継ぎのことではなく、その後も含めた支援やフォローなのかもしれません。ちなみに3月に御代田中学校を卒業した生徒さんを対象に、相談案内のチラシを作成・配布しました。気になる方はご一読ください。

問い合わせ先 教育委員会学校教育係 (32)9100